宮崎放送

活動名	MRT おはなし会
実施期間	令和 5 年 7 月～令和 6 年 1 月
実施回数	会場 1 回・オンライン 2 回
配信作品数	放送作品数 3 本× 2 回 (計 6 本)
配信期間	ラジオ放送 ①令和 5 年 7 月 9 日 ②令和 6 年 1 月 28 日

【事業実施の成果・課題】

今年度は、例年に引き続きラジオ放送での“おはなし会”を 2 度開催し、合わせて、対面での読み聞かせ会を 1 度、行うことができました。

コロナ禍で対面による朗読会の機会がなくなっていた中で、今年度、徐々にでも始められたことは、子どもたちの様子に合わせて間をとる、一緒に楽しむといった、わかりやすく朗読するという点で、読み手であるアナウンサーにとっても学びとなりました。

多くの方にお楽しみいただけるというラジオ放送での良さと、ライブ感を大切にできるという対面（イベント型）での読み聞かせの良さ、双方のいい部分を活かした開催を、今後も目指していきたいと感じました。

【読み手アナウンサーの感想】

<清水玲アナウンサー> (以下感想は、8/20 開催朗読会について) (※ 2024 年 1 月 28 日 OA「雪の女王」も朗読)

小学生を対象に募集していたが、そのご家族の未就学児からおじいちゃんおばあちゃんまで親子 3 世代で楽しんでもらうことができた。

サイズの大きい絵本を読む際には、子どもたちが前に出て一緒に朗読してもらい、対面での開催の良さも改めて感じられた。

<澁谷アナウンサー> (以下感想は、8/20 開催朗読会について) (※ 2024 年 1 月 28 日 OA「Life」も朗読)

コロナ禍の入社でしたので初めてリアルでの読み聞かせでしたが、子どもたちが大きく反応しながら聞いてくれている姿に凄く嬉しくなり、対面での読み聞かせならではの良さを感じました。

<山崎アナウンサー> (7 月 9 日 OA「夏の思い出」朗読)

宮崎県門川町の無人島で繁殖期を過ごす絶滅危惧種「カンムリウミスズメ」を題材にした絵本を朗読しました。絵本をラジオで伝えるということで、なるべく情景を浮かべてもらえるように、間の取り方や抑揚の付け方を工夫しました。一人でも多くの方に、カンムリウミスズメの存在を知っていただき、海の環境を守るために何が必要なのかを考えていただくきっかけになればという思いで朗読しました。

<古田アナウンサー> (7 月 9 日 OA「とんところ地震」&1 月 28 日 OA「小人のくつやさん」朗読)

朗読を通して、声色や間合いの使い方を更に研究し自分の声の幅を広げて行きたいなと感じました。

【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

<ラジオ放送 リスナーさんの感想>

- ・読み聞かせボランティアをしているので、参考にしながら拝聴しました。
- ・キャラクターの読み分けが、いつものアナウンサーの雰囲気と違って新鮮でした。
- ・radiko で、寝る前に聞きました！ など

<対面での朗読会の感想>

- ・みなさんに喜んでいただけた（主催者）
- ・地元（都城）の歴史絵本にびっくりした（参加者）
- ・郷土の本を読み聞かせていただき良かった（参加者）
- ・楽しかった！ 楽しい時間でした！（参加者） など